



リトル・リス小豆 A5

蕎麦町春彦



リトルプレス小豆A5

茜町春彦

目次：

- 歌の絵本「しゃぼん玉」
- 断簡零墨「解析しゃぼん玉」
- 仮説エッセイ「たらちねの」
- 新作万葉集「第2頁」
- 考察エッセイ「民法第900条（法定相続分）四号」
- イラストレーション「パリスの審判」

前書き

歌の絵本「しゃぼん玉」：

童謡『しゃぼん玉』を絵本にしました。英訳も行いました。

作詞者：野口雨情（1945年没） 作曲者：中山晋平（1952年没） 歌の著作権：消滅

断簡零墨「解析しゃぼん玉」：

童謡『しゃぼん玉』に就いて想った事です。

仮説エッセイ「たらちねの」：

万葉歌の枕詞「垂乳根」の意味を考えてみます。

ただし上代特殊仮名遣は間違いであると仮定して居ります。

新作万葉集「第2頁」：

現代の出来事にアイデアの基を取材して、万葉仮名で歌を3首詠みました。

人物・団体等は全て架空のものです。

考察エッセイ「民法第900条（法定相続分）四号」：

民法第900条の四号に規定してある法定相続分に就いて考えました。

イラストレーション「パリスの審判」：

Pieter Paul Rubence(1557-1640)の油彩画の模写です。



歌の絵本「しゃぼん玉」

絵・文・訳：茜町春彦

作詞：野口雨情 作曲：中山晋平

概要：

イラスト1枚の絵本です。英訳も行いました。

野口雨情（1945年没）、中山晋平（1952年没）、歌の著作権消滅。



歌詞

「しゃぼん玉」

しゃぼん玉とんだ 屋根までとんだ 屋根までとんで こわれて消えた
しゃぼん玉消えた 飛ばずに消えた うまれてすぐに こわれて消えた
風風吹くな しゃぼん玉とばそ

" Soap bubbles "

Soap bubbles flew.

They flew up to the roof.

They flew up to the roof, broke and disappeared.

A soap bubble disappeared.

It disappeared and didn't fly.

It was born. It broke and disappeared at once.

I want to stop the wind.

I will blow soap bubbles.



断簡零墨「解析しゃぼん玉」

著者：茜町春彦

概要：

童謡『しゃぼん玉（作詞：野口雨情）』に就いて想ったアイデアの断片です。

《思考回路の解析》

しゃぼん玉とんだ 屋根までとんだ 屋根までとんで こわれて消えた （事実の認識）

しゃぼん玉消えた 飛ばずに消えた （否定形による認識：飛んでいたかも知れない未来の状態を想定）

うまれてすぐに こわれて消えた （事実の認識）

風風吹くな （禁止：風が原因であると特定して禁止と云う対策を講じている）

しゃぼん玉とばそ （意志：それでも飛ばそうと云う意志を表明している）

《応用例「ジュースがあふれた場合」》

ビンからコップにジュースを注いだ、注いだら溢れた。 （事実の認識）

あふれた分は飲めずに拭き取った。 （飲めたはずのものがあつた事を否定形により認識する）

よそ見をするな。 （原因を特定して、禁止により対策をとる）

コップを見てジュースを注ごうよ。 （意志の表明）

（了）



仮説エッセイ「たらちねの」

著者：茜町春彦

概要：

万葉歌の枕詞「垂乳根」の意味を考えてみます。

ただし上代特殊仮名遣は間違いであると仮定して居ります。

例として3首、枕詞「たらちねの」が詠まれている歌を示します。

- 2991 垂乳根之 母我養蚕乃眉隠 馬声蜂音石 花蜘蛛荒鹿 異母二不相而
- 2517 足千根乃 母尔障良婆無用 伊麻思毛 吾毛 事応成
- 2368 垂乳根之 母之手放加是許 無為便事者 未為国

「垂乳」および「足千」を『たち（刀）』と訓じてみます。

すると、『たち（刀）』は『と（刀）』と読めるので『戸』または『処』であると解釈してみます。

また、「根」を『こむ』と音読みします。『こむ』は『隠む』または『籠む』と解釈してみます

従って「垂乳根之（足千根乃）」は『戸隠む』または『処籠む』と読めるので、『（家・部屋の）戸に隠れる』または『（家・部屋の）処に籠もる』の意味になります。『戸隠む』でも『処籠む』でも、ほぼ同じ意味（家・部屋に閉じこもる）なので、ここでは『戸に隠れる』として、上記の3首を現代語に意識してみます。

- 2991 戸に隠れる母が、カイコの繭隠り（のように動かないが）うっとうしい、（たまには）こんな事もあるが、妻に会えずして（帰る）。
- 2517 戸に隠れる母の、気に障ることの無いように、君も僕も、する事はするだろう。
- 2368 戸に隠れる母が、手鼻をかんでばかりいる、なすべき事は、未だ、して無いのになあ

（了）

垂乳根

たち

こん

↓

↓

刀

隠む

↓

と

↓

戸

↓

戸 = 隠れる

(閉じこもる)



新作万葉集「第2頁」

著者：茜町春彦

概要：

現代の出来事からアイデアの基を取材して、万葉仮名で歌を3首詠みました。
人物・団体等は全て架空のものです。

「雜歌」

小浜大臣贈朝戸大臣、歌1首

- 臀部矢 醬油乃街尼 乘照等 聖餐式射留 打込曾

朝戸大臣報贈小浜大臣、歌1首

- 荒 何矢念 小竹津 受入樽注点念 勘弁舌礼矢 吾

「問答歌」

或漫才師之結婚記者会見之時、妹被問若夫為不倫汝為何而答詠、歌1首

- 一緒尼 猿出毛出切古都 志摩須



考察エッセイ「民法第900条（法定相続分）四号」

著者：茜町春彦

概要：

民法第900条の四号に規定してある法定相続分に就いて考えてみました。

考察エッセイ「民法第900条（法定相続分）四号」

法定相続分について私見を述べますと、

- 父親の遺産に対して、父親が同じであれば、母親に依らず、全ての子供は同等の権利を有していると思います。
- 母親の遺産に対して、母親が同じであれば、父親に依らず、全ての子供は同等の権利を有していると思います。

なぜ民法第900条は、嫡出か、否かで、法定相続分に違いを設けているのでしょうか？考えてみます。

大宝令の貴族制度の中に蔭位があります。蔭位とは、父親の朝廷での位階を息子が相続する規定です。例えば父親が生前に従5位だった場合、その息子が、嫡子ならば従8位上を叙位することになり、庶子ならば従8位下を叙位することになります。つまり蔭位では、嫡子であるのか、それとも庶子であるのかに依り、身分に上下の差を設けていました。

このような考え方の一端が、民法第900条に影響を及ぼしているのだらうと考察します。



イラストレーション「パリスの審判」

制作：茜町春彦

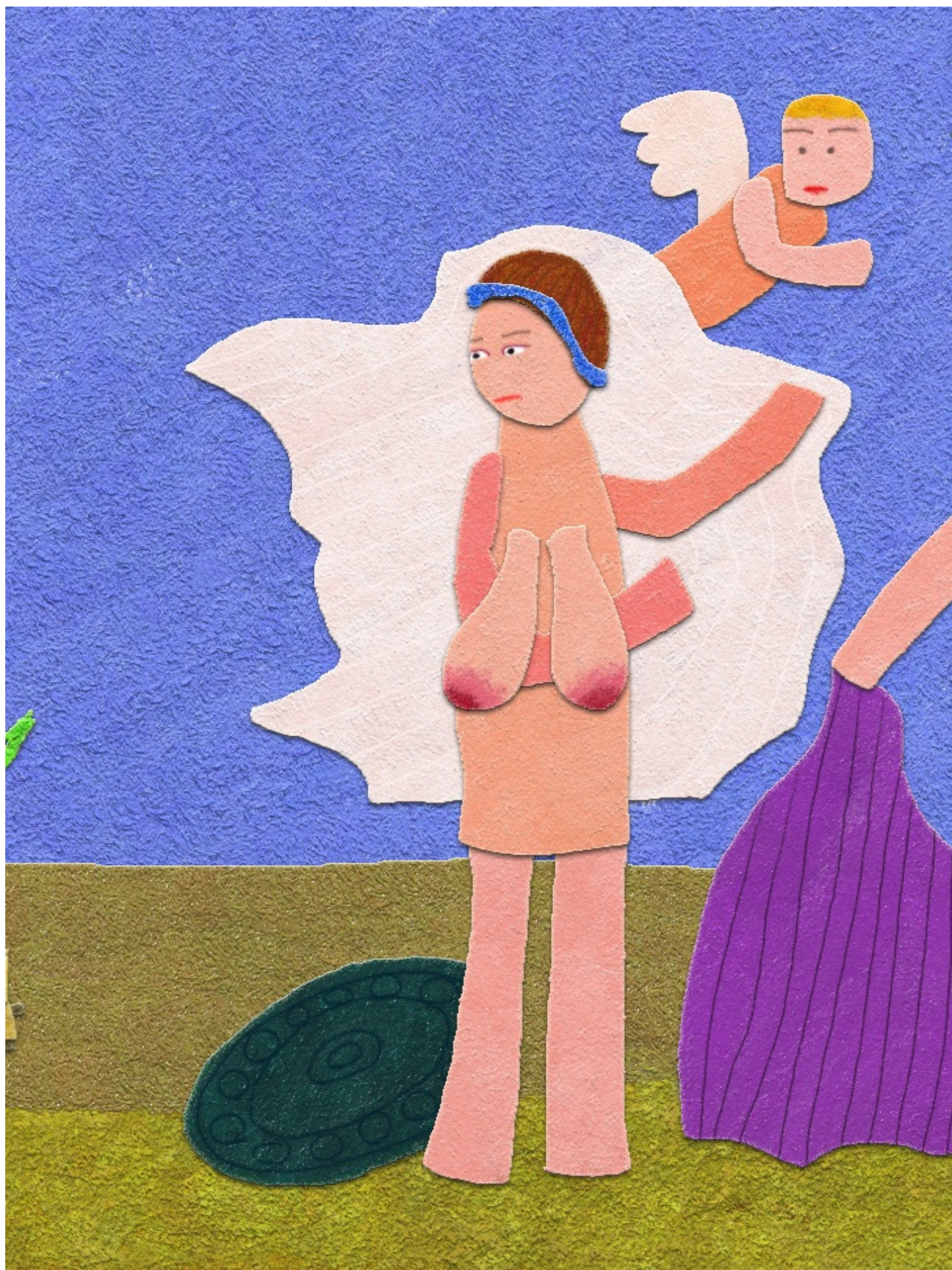
原作者：ルーベンス



概要：

Pieter Paul Rubence(1557-1640)の油彩画の模写です。







後書き

参考文献：

日本の昔話：平成17年10月25日36刷（柳田国男著、新潮文庫）

漢文法基礎 本当にわかる漢文入門：2010年12月13日第4刷発行

（加地伸行著、講談社学術文庫）

ジーニアス英和辞典〈改訂版〉2色刷リ:1994年4月1日改訂版初版発行

（株式会社大修館書店）

新コンサイス和英辞典〈革装〉第3刷：昭和50年9月15日第1刷発行

（株式会社三省堂）

実例英文法〈第4版〉：昭和63年6月第1刷発行

（AJ.トムソン・AV.マーティネット共著、江川泰一郎訳、オックスフォード大学出版局）

Longman Dictionary of American English:First printing 1983 (Longman Inc.)

古語大辞典：昭和60年1月21日第1版第6刷発行

（中田祝夫・和田利政・北原保雄編、株式会社小学館）

古代国語の音韻に就いて 他二篇：2011年11月10日第32刷発行

（橋本進吉著、岩波文庫）

レトリックのすすめ：2009年9月1日初版第2刷

（野内良三著、株式会社大修館書店）

いろはうた 日本語史へのいざない：2009年3月10日第1刷発行

（小松英雄、講談社学術文庫）

かな：1981年11月20日第15刷発行

（小松茂美、岩波新書）

新選万葉集抄新装版：平成25年1月30日新装版第2刷発行

（小野寛著、有限会社笠間書院）

萬葉集 一 新日本古典文学大系1：1999年5月20日第1刷発行

（佐竹昭広、山田英雄、工藤力男、大谷雅夫、山崎福之校注、株式会社岩波書店）

巨匠に教わる絵画の見かた：1996年10月15日第1版発行

（視覚デザイン研究所編、株式会社視覚デザイン研究所）

鑑賞のための西洋美術史入門：平成18年9月1日第1版

（早坂優子著、株式会社視覚デザイン研究所）

思い出の童謡・唱歌200：2012年8月20日発行

（成美堂出版編集部編集、成美堂出版）

三省堂新六法2002平成14年版：2001年10月10日第1刷発行

（編集代表・永井憲一、株式会社三省堂）

世界大百科事典22：1981年4月20日初版発行

（編集兼発行人・下中邦彦、平凡社）

日本の歴史04平城京と木簡の世紀：2009年12月1日第3刷発行

（渡辺晃宏著、講談社学術文庫）

CG画像：

次の画像処理ソフトウェアを使用しました。

ArtRage 3 Studio Pro（アンビエント社）

Photoshop Elements 10（アドビシステムズ株式会社）

著者：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。作品が社会の進歩に多少なりとも寄与することを願いながら、日々制作を行なっています。

その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です。

本書は著作権法により保護されています。

2013年10月16日発行

2019年6月28日改訂

リトルプレス小豆A5

<http://p.booklog.jp/book/77980>

著者：茜町春彦

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/akaneharu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/77980>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/77980>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ